



1月8日、長瀬子供会では左義長(どんど焼き)を行いました。昔からの正月行事を子供たちに伝えて行こうと、ここ数年各地で行われるようになりました。

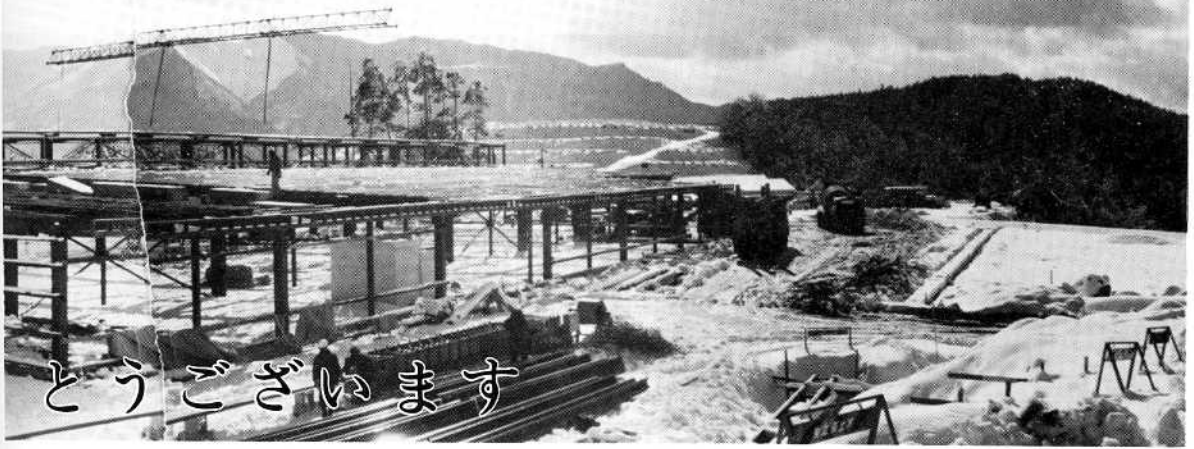
— 左義長をする長瀬子供会のみなさん —

### 人口の動き

—12月末住民登録人口から—

世帯数	927世帯
人口	3,567人
転入	2人
転出	10人
出生	3人
死亡	3人

先月と比較して8人減  
 昨年と同月と比較して39人減



## 年頭のあいさつ

# 新たな飛躍への基礎固めの年

東白川村長 安江多策

昭和六十二年の新春を健康で明るく迎えられたことを心からお喜び申し上げます。

厳しい社会の流れの中で、活力を生み出し毎日の生活に潤いと安らぎを求め、豊かな地域社会を目指して村づくりという総合目標の中で、意欲と創意を基にその基盤づくりから推進して参りました。急激な円高不況など極めて厳しい社会環境にもかかわらず、各位の深いご理解と積極的なご協力により諸事業の順調な進展を見ました。

特に皆さんの強い要請を基に働き場、所得の確保のための企業誘致に際し並々ならぬご協力を賜り誠に有難うございました。ここに謹んで厚く御礼申し上げます。

新しい年を迎え本年もまた社会経済など相変らず厳しい状況が予想され、時代を画する変化の激しい年と考えられます。我が国の経済社会は大きな転換期を迎えようとしています。世界最大の貿易黒字を背景とした経

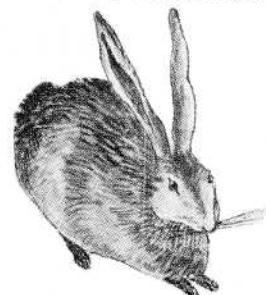
済の国際化、円高による産業界の変化、先端技術の発達と高度情報化の進展、新人類の言葉に象徴される住民の価値感の多様化など社会のすべての側面で構造的変化の年ともいわれます。すばらしい自然と素朴な人情など諸々の条件を備えた故郷に住む私たちは、この天恵の自然との調和の中で生活できる喜び、また苦勞を共に享受しながら将来への豊かな郷土構築を願ひ、安らぎのある生活実現のため今に生きる者の責として、連帯と協調を深めながら、押し寄せる大きな時代のうねりの中で二十一世紀に向けて質の高い効率的な活力の基盤を確立し、この激動に立ち向かわねばならないと存じます。

しかし円高不況の影響は、基幹産業の農林業までその類を及ぼし、極めて厳しい状況です。今まで村を支えてきた農林業は、米の転作の定着を基に、需要の動向に即した生産再編制と、農地利用型農業の体質改善強化を基本に、すべての産業共々更に新しい方向に拡大進展し、その上に尚プラス要件として企業誘致を位置づけいたしました。

生活革命は年毎に進展し、新しい社会ニーズに対し常に新しい知恵と情報を基に、創り出す住民ニーズに基づく施策を速やかに構築しなければなりません。

日常生活の上でも時代の変遷に対応するには、経済的安定生活のゆとりがまず必要であり、此の度の企業誘致がその目標であり、これが地域と共に発展するみんなのよき働き場所として育て上げていただくことをお願いいたします。

このすばらしい自然の中で、豊かで安らぎのある毎日の生活ができる故郷として、若者が定住する活気ある村として新たな飛躍への基礎固めの年であり、明日への明るい生活の基盤づくりの幕あけとして、皆さんの理解あるご協力を心からお願ひ申し上げます。ご健康とご多幸をお祈りし年頭のあいさつとします。

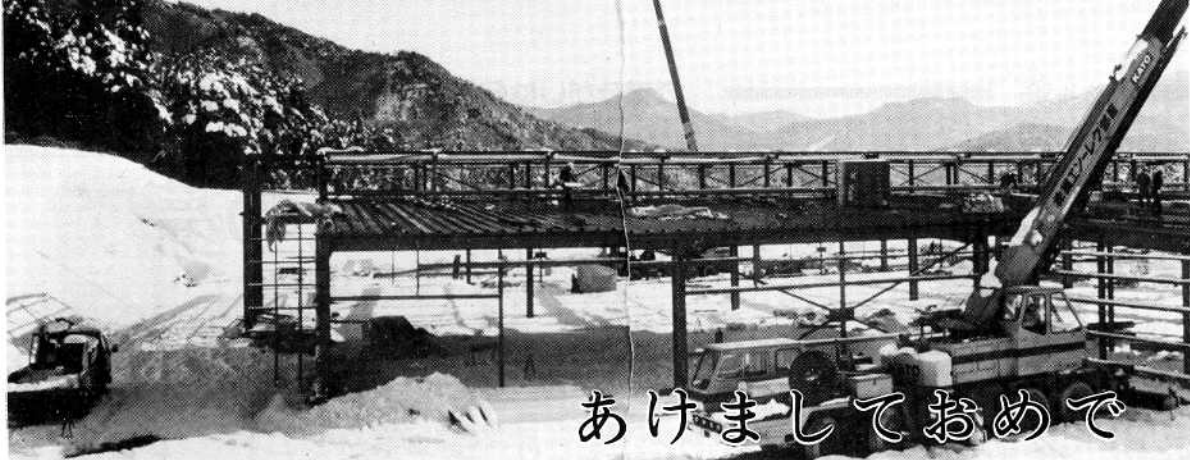


## 今年は卯年

ウサギは身近な動物で、いまでも野生のウサギをよく見かけますし、食肉用、毛用、毛皮用、ペットなどとして広く飼われています。

また、昔からあるいろいろな物語にもウサギがよく登場しています。イソップ童話の「ウサギとカメ」や日本の昔話の「かちかち山」「因幡の白ウサギ」などが有名です。さてみなさんは、これらの物語に登場するウサギについてどんなイメージをお持ちでしょうか。

「ウサギとカメ」のウサギは油断して昼寝をしてしまうので、自信家か、それともなまけ者。「かちかち山」は、おじいさんのために敵うちをするので正義の味方になっている。しかし、それにしてもタヌ



## あけましておめで

明けましておめでとうござい  
ます。皆様おそろいで、輝かし  
い新春をお迎えになりましたこ  
とと、心からお祝い申し上げます。

時の流れは早く昭和六十一年  
も足早やに過ぎ、六十二年の幕  
が開けました。昨年中の議会活  
動に対する皆様のそれぞれの  
立場でのご指導、ご協力に対し  
心から御礼申し上げます。

昨年を振り返ってみますとき、  
非常に厳しい社会環境の中では  
ありましたが、本村にあっては  
ある一面では飛躍のスタートの  
年であったと思います。

ほ場整備の進捗とそれに伴う  
園芸振興……トマトの選果場と  
水稲育苗施設が稼働を始めまし  
た。また、木材振興の一助にと  
……「東白川の家」産直住宅の  
本格的な活動が始まりました。  
もちろん従来から受け継がれて  
きた茶、東濃ヒノキを始めとす  
る農林業、地場産業との協調体  
制も各方面で検討努力されて参  
りました。



「健康で明るい村づくり」と高  
齢化社会対応の一つの柱として  
……東白川病院の入院棟の改築  
が始まりました。

そして、長い間村民の皆様の  
要望として行政の大きな宿題と  
もなっていた安定した優良企業  
の誘致……「岐阜部品株式会社」  
が生まれ、工場建設もスタート  
出来ました。

特にこの企業誘致につきまし  
ては、その行政努力と皆様の深  
いご理解がこの実現をもたらし  
たもので、心から感謝いたして  
おります。

先人、先輩の限らない努力で  
積み上げられてきた東白川に、  
新たな村づくりのスタートがで  
きたと思います。決してこれだ  
けで満足できるものではありません。

この新たなスタートが村ぐる  
みの力で真の村づくりに発展す  
べく努力し、大成させることが  
次の世代に対する私たち現在に  
生きるものの勤めだと考えます。  
皆様の連帯と協調を信じて止み

### 新年のごあいさつ

## 村づくりを支える ものは人の心の力

村議会議長 田口 哲彦

ません。

「村おこし、町おこし」という  
言葉をよく耳にいたします。本  
村でも村おこしを本格的に始め  
られようとしております。特色  
ある地域社会を作り上げ、特色  
ある製品を作り出して「豊かな  
住みよい村づくり」の実現のた  
めに、村をあげての努力がまた  
れております。

厳しい現状の中で、その困難  
を克服し、村づくりを支えるも  
のは人の心の力であると信じま  
す。いま迎えました、昭和六十  
二年……皆様のご活躍で前進の  
年でありますよう念じておりま  
す。

ハレー彗星を見た翌年は、好  
転のスタートの年と言われてお  
ります。これを信じよき年であ  
りますよう祈り、皆様の健康と  
一層のご活躍を祈念し、本年も  
議会活動に対してよろしくご指  
導、ご協力いただけますようお  
願い申し上げます。新年のごあいさ  
つといたします。

キをだまして背中にやけどを  
負わせたり、その傷に唐辛子  
を塗ったり、泥船に乗せたり  
……、ちよつと残酷すぎるよ  
うです。

「因幡の白ウサギ」は知恵を  
働かしてワニザメをまんまと  
だましたつもりが、皮をむか  
れて赤裸になってしまいます。  
こうして見ると、ウサギに対  
するイメージはいろいろのよ  
うです。

生物学的に見ても、ウサギ  
はなかなかしたたか者です。  
砂漠、草原、森林、高地、ツ  
ンドラなどあらゆる所に住む  
ことができ、糞を食べて反す  
う（一度飲み込んだものを再  
び食べること）の代わりにす  
る習性があります。

また、事典にはウサギの飼  
育は容易で、飼育箱は幅・奥  
行き六十センチ、高さ四十五  
センチあればいいという意味  
のことがでていました。なる  
ほど、これが例のウサギ小屋  
の由来かとうなずいた次第で  
す。

ウサギ年の今年、国連の  
定めた国際居住年に当たりま  
す。貿易摩擦解消のためにも  
内需を拡大してもっと住宅を  
作り、みんながゆつたりとし  
た家に住めるようにしたいも  
のです。



# 1987年にかける私の夢!



今年はこんなことがしたい。こんなことをやりとげたい。こんな心がけて過ごしてみたい。など皆さん新しい年にかける夢や抱負をお持ちのことと思います。そこで、次の皆さんに「1987年にかける私の夢」と題して書いていただきました。



教育委員長  
古田好夫

## 心の触れ合い を大切に

新年あけましておめでとうございます。日ごろは、村の皆様にはそれぞれの立場で、村の教育のためにお力添えをいただきまして厚く御礼申し上げます。このごろは、世の中にあわただしいあまりとかく目先のことにのみ追われて大きな見落としが多いという傾向があります。あまり遠い未来に大きな理想を持つと、空想や夢になってしまいます。理想を失い現実のみに追いつかれていたのでは、意義ある人生を送ることができません。新しい年を迎え、私は自分なりの理想と夢を描いています。村の教育の上にも、理想と夢をもって第一歩を踏み出していきたいものです。心の触れ合い、ぬくもりも忘れないように。これからも明るい教育、人づくりを力注いでゆきたいと思っています。どうか温かいご指導ご協力をお願いします。

## 社会に貢献 できる婦人会に

新しい年を迎えお喜び申し上げます。

日ごろは、私たち婦人会に皆様の温かいご協力、ご指導をいただいただきありがとうございます。婦人会の活動においても変化しつつある時代となり、それに即応した会の運営も大変なことと思っておりますが、組織の力で考え行動しつつ文化、教養を高め、会員の方々の勉強の場として大きく育てなければなりません。

そして、婦人会の位置づけ活動を通して連帯意識を深めボランティア活動、保健活動、研修会と忙しい中、家庭に少しでも役立つ活動を行っております。

婦人会の中で少しでも豊かな心を養い、明るい社会に貢献できる婦人会に育てたいと思っておりますので、ご理解とご協力をお願いし、今後ともよろしくご指導くださいますようお願い致します。



婦人会長  
安江律子



消防団長  
中島潮己

## 今年も 無災害の年で

輝かしい新春を迎えることができましたことを心からお祝い申し上げます。昨年は幸にしてさしたる水火災害を始めとする各種災害もなく、無事に終えることができましたことを、皆様と共に喜びたいと思います。

近年私たちを取りまく生活環境は極めて複雑多岐にわたり従来の観念を大きく変える時代となつてまいりましたが、我々は安全で暮らしたい地域社会の実現を目指して、時代に即応した体制を確立し一致団結して訓練に励み伝統ある消防精神を養い、和を中心とした強固で団結を誇る消防人として、村民の期待と信望に沿いたいと感じます。

本年は卯年であり昔話の「うさぎとカメ」の如く油断をしないように足元をしつかり固めて活動を続け、新しい年の始めに今年も無災害の年でありますことを祈念し、実り多い飛躍の年となることを切望致します。

## 体力づくりに 頑張る

「一年の計は元旦にあり」

年が変わると気持ちの切り替えもでき、いろんなことができそうな気がします。今年こそはこんなこともしてみたい、あんなこともしなければいけないが、結局は思いの半分もやりとげることができず反省ばかりの毎年で。

家族みんなが健康で、大過なく一年を過ごせたからいいじゃないか、と満足しているようなわけで……。

四十歳半ば、気持ちだけは若いつもりでも、だんだんと体力の衰えが気になる年代に入ってきました。少しでも体力の衰えをカバーし健康な体を維持するため、どうしても運動不足になりがちな冬の体力づくりに、ジョギングでもやってみようかと思っております。今年の暮にも健康でよかったですといえるように、体力づくりに頑張ってください。



子供会  
育成会  
会長  
松岡公男

### クラブに 期待すること

昨年のジュニアリーダークラブの活動は、主に青年の主張大会の出席、子供会のゲーム指導、村民運動会への協力などがありました。

しかし、その活動の内容は決してよいものでありませんでした。参加人数も少なく、まとまがないために、活動する機会が二、三回ほどで活気がありませんでした。

今までは、ジュニアリーダークラブが計画した活動はありませんでした。そこで今年は、どんな小さな活動でもいいので、自分たちで計画を立て、実行し、活気あるクラブ活動にしてほしいと思います。そして、村民の皆さんから感謝されるジュニアリーダークラブを目指し、がんばってほしいと思います。

私は、この三月で卒業ですがこれからもジュニアリーダークラブが村の活発化に、貢献するように願っています。



ジュニアリーダー  
会長 安 重 幸



老人クラブ  
連合会長 川 圭 一

### 生ある限り 現役である

高齢化社会に生きる私達老人は、「心身共に健康である」ことが大切です。そして「生ある限り現役である」という気概を持って、生々とした毎日を送ることが必要です。

生々とした生活とは、自分でも何か目標を立て、その目標に向かって努力することだと思えます。そしてそれが、人のため、社会のために、役立てばこんな喜びはありません。この喜びは心身共に健康でなければ味わうことは出来ません。

健康を保持するためには、正しい栄養をとり、適度な運動をし、充分に休養することの大切さは言うまでもありませんが、それと共に心の持ち方が大切です。人は誰でも腹の立つこともあり、心配ごともあります。これらは早く忘れさり、いつまでもよくよくよいこと。これこそ、「一怒一老、一笑一若」これこそ、健康で長生きの秘けつです。

### 地域に根ざした 活動を

新年を迎え、昨年を反省し、今年は何人的にも益々大きく成長したいと考えています。

昨年は、地域の青年団を意識し活動を行ってきたわけですが決して皆様のお役に立てたなどとは思っていません。しかし、少しでも村のためになるのならと思い、いろいろ考えて精一杯の活動だったので。

今年も、昨年以上に地域に根ざした活動をと検討していたところ、桜の手入れをしていただきたいとの申し入れがあり、早々計画するように致しました。

また、活動ばかりでなくいろいろな体験を積み重ね、団員個々の意識を向上させられるよう務めていきたいと考えています。村の発展をになう青年、人生のうちで最も行動でき学べる今を大切にして、多くの友達と広い視野に立って悔いのない青春を送れるよう、頑張っていきたいと思えます。



青年団長  
今 井 英 樹

### 将来に 悔のない生活を



小学校  
PTA会長 安 保

「おっ」。今日も手足が動く、耳も聞こえる、目も見えるゾ。朝めしを食って……。「さて」っ、いつもの所へ出掛ける……。「ん、今日も健康だ」。

あれもやりたい。これもしたい……。あの夢、この望……。それらを笑らせる源は、まず、健康な心と体が必要。いつも年が新たなまらびに、第一に願うことは、家族全員が健やかな心と体で暮らせることを……。今年もそうありたいと思う。

豊かな自然の地に、今、工場建設の騒音が響いている。時は人々の暮らしを、さまざまに変えながら過ぎ、また未知の「もの」を運んでくる。

そんな中、我が百姓、精いっぱい生き、そして曲つてもみようと。今年も田畑の様子が変わろうとしている。「もの」が変れば暮らし向きも変わる。将来に悔のなきよう、健康な体と心で私は今年も生き、歩みたい。

### 自ら学ぶ 親になろう

目まぐるしく移り変わる本村、そんな中で生活の容態も大きく変容しようとしています。

忙しい日々を送っている父母、そんな中で、それなりの問題点が山積されている。これらの多くの課題を正しく理解し、どう解決していくべきであろうか。また、長所は長所として伸ばして行きたいものです。

学校と家庭、それぞれの役割を理解し、地域社会との連帯をはかり、信頼と感謝の心で進みたいと思います。

今年も、加茂郡PTA大会が東白川で行われます。PTA活動は学級PTAからと言われますように、家庭教育の研修会も会員が集まりやすい学級から次第に研修の輪を広げ、講演会や研修会へと、自ら学ぶ親になる。そして、親子のふれあいを大切にしてPTA会員が全員参加できるようなPTA活動にもっていかれたらと思います。



中学校  
PTA会長 安 明 夫

# 村の人口が増えた！

## — 企業誘致の効果と見通し —

昭和六十一年九月、長い間減り続けてきた東白川村の住民登録の男子人口が前月に比べて増加しました。十一月末日現在では最低であった六月に比べて男女合わせて十四名が多くなっています。これは、村で誘致した企業がUターンを促進したためです。

昨年の八月に誘致企業として岐阜部品株式会社が進出して以来、仮操業ながらすでに百二十六名の方が働いていますが、そのうち男女合わせて二十名が村外から戻って就業した方で、これが人口の増加につながったわけです。

就業者の内訳は、男子三十五名で村内者二十四名、村外者十一名、女子は村内者六十二名、村外者二十九名となっています。

従業員百名を超える工場が二か月ばかりのうちに生れたわけですが、そればかりではありません。付知町には二十四名の分工場が開設されており、加子母村と高山市には両方合わせて百名近い外注加工所が生れています。

その安定性は抜群です。

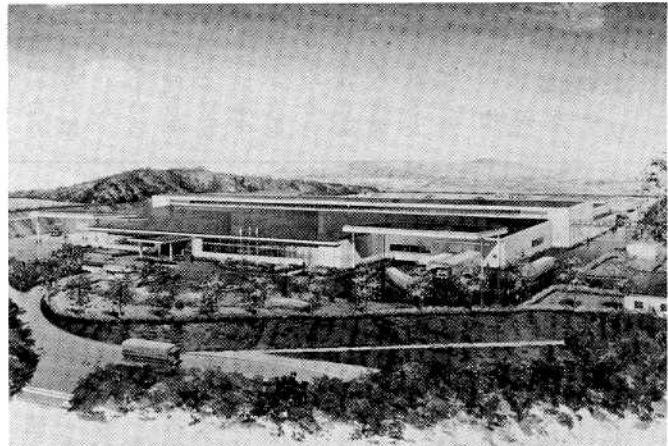
## 安心して働ける就業場所

このことは、岐阜部品(株)の安定度と将来性を示すものだと思います。

今まで、東濃や飛騨地方の山間部へ進出してくる企業は、二次、三次下請けのレベルの仕事がほとんどで、少し経済状況が悪くなると、仕事が減ったり撤退したりで、不安定このうえないのが実情でした。

岐阜部品の場合は、今や世界一の自動車メーカーであるトヨタ自動車から直接的に受注し、直接納品する、いわゆる「直接取引」の関係にありますから、

その安定性は抜群です。また、岐阜部品で製造している自動車用組電線は、矢崎総業を頂点とするヤザキグループの主力製品であり、トヨタ、ニッサンなどの国内メーカーはもとより、全世界十一箇所に分布する海外工場を通じて世界中の自動車メーカーに供給されており、その国際シェア(国際的な占有率は十七パーセントと世界一を誇っています)。



今年の3月完成予定の岐阜部品株式会社本社工場  
— 完成予想図

岐阜部品は、この自動車用組電線製造の新戦力として期待されていますが、特にトヨタ自動車の国内販売台数の大巾な増加に伴って、現在カムリ、ビスタとターセルを担当し、フル生産で受注に当たっている現状です。

## 強大な経済基盤に立った安定企業

今年の三月、萌え出す春の息吹の中に、横九十五メートル

縦六十五メートルの大工場が完成します。

この工場は本社工場ですから電線切断のオートマーションをはじめ、切断端子打ち工程六ラインがもうけられ、現在国内の各工場へ研修に出ている男子職員が帰村して、このポジションを守ることになりました。

また端子打ちと組立て工程三ラインには女性従業員がそれぞれチームを組んで当ることになり、新工場完成後の従業員数は、男子五十八名、女子百七十名、合計二百二十八名となります。

自動車用組電線は、自動車の生産が続く限り絶体に必要なものであり、また作業の機械化が困難なものですから、就労対策としての企業の安定性は非常に優れており誘致企業として村が選択した最大の理由はここにありま。

このような安定性に着目して飛騨地方のほとんどの町村が、分工場の誘致に乗り出して来ました。

また、企業としてもこれを受けて、現在バラバラの生産体制にあるトラック系統の組電線専門工場として岐阜部品を位置づけ、昭和六十三年には年間生産高三十億円以上を達成するため土岐市、国府町に分工場を建設するよう具体化しています。

このように、東白川村を拠点に岐阜県内各地に分工場、加工所がもうけられると、総従業員数は二千人を超える大規模なものとなり、強大な経済基盤に立った安定企業として育つことでしょう。

企業誘致ほど、言うは易く行うにむずかしいものはありません、今回の誘致が地域の発展につながり、引いては地場産業にも良い刺激をあたえて、働く場所が拡大され、もっともっと人口が増加することを願って止みません。

昨年  
の成人病予  
防検診  
風景—黒淵  
クラブで



# 受診率 58.8% 成人病予防検診

## 2月1日から成人病予防週間

成人病は、死因の上位を占めるおそろしい病気ですが、早期発見し、日常生活の注意によりその進行をくい止めることができます。本村での成人病検診は、個々の健康度に応じた検診をおこない、一年間の生活をふり返り今後どんなことに注意したらより健康な生活を送ることができけるかを確認する場として、今日まで行われてきました。

六十一年度の予防検診は、昨年八月四日から六日間、岐阜大学医学部衛生学教室、可茂保健所、成人病予防推進員の協力を得て村内十三会場で実施しました。受診率は五八・八%と、前年度の受診率六一・八%を大きく下回る結果となりました。

今年度の検診対象者は、昭和六十一年四月一日現在で三十歳以上の人で、未受診理由調査により回収した職場検診・病院受診済みと、歩行不能により受診が無理とみなされる人を除いた千六百三十三人です。そのうち受診者が九百六十一人で、受診率は五八・八%となりました。

受診率低下について年齢別で考えてみますと、仕事による過労やストレスからくる健康破壊が多い年代の、働き盛りである四十歳から五十歳代の受診率が低いのが問題です。

仕事の都合で受診できない人もあると思いますが、そうした人のために土曜日と日曜日にも検診を行いました。しかしながら受診率が低いのはなぜでしょうか。

「仕事の方が大切や」、「痛いところもないし健康だから受けんでもいいわ」、「受けに行くけど血圧が高いと言われるだけだから行かない」……などの考えを持つ人が増えてきているのではなにかという気がします。

また、三十五歳から三十九歳の男性と六十五歳以上の男女の受診率が上昇しているのに対し、三十五歳から三十九歳の女性の受診率に変化はなく、そのほかの年齢層では全て下降しています。

六十五歳以上の受診率が上昇したのは、「自分の健康は自分で守る」という考えが浸透してきた、老人クラブなどでの健康教育で、より健康に関心をもつようになつてきたことのためではないでしょうか。

予防検診の結果は(図1)のようになっています。総合判定結果では、九七・七%が異常なし、「健康」の判定を受けました。残る二・三%の内訳は、要観察〇・六%、要二次検診一・六%、治療中〇・一%となっています。検診で健康の確認を受け明日への活力を養いましょう。

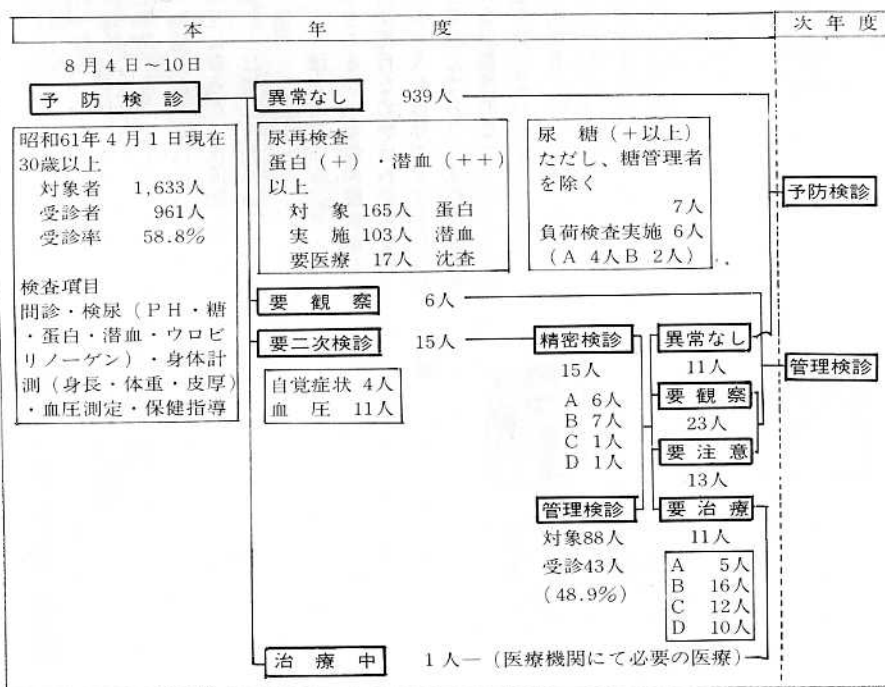
「あなたの健康、家族のしあわせ」検診は豊かな実年へのパスポートをスローガンに、二月一日から七日まで成人病予防週間が行われます。

### 冬期健康相談 今年も二月に実施

「あなたの健康、家族のしあわせ」検診は豊かな実年へのパスポートをスローガンに、二月一日から七日まで成人病予防週間が行われます。

村でもこの運動を受けて、二月二日から十七日まで村内十九会場冬期健康相談を実施します。冬期は血圧の上昇しやすい時期でもあり、自分の健康状態を常に把握しておくことが予防の第一です。健康をもう一度見直すために進んで参加しましょう。

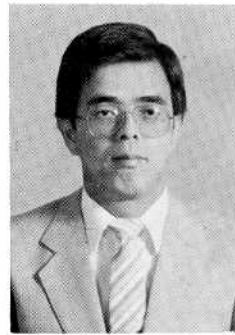
図 1 昭和61年度成人病予防検診結果





# ヨーロッパ アメリカ見聞録

①



東白川小学校  
教諭 村雲芳明

東白川小学校教諭、村雲芳明先生が昨年の九月十七日から約一か月間、文部省教員海外派遣団の一員としてヨーロッパとアメリカの教育事情を視察し帰国されました。その手記をお寄せいただきましたので今回から四回にわたり紹介します。

九月十七日から三十日間、文部省教員海外派遣団の一員として、ヨーロッパ、アメリカの教育事情視察に参加させていただきました。  
フランス、オランダ、スペイン、アメリカ合衆国の四か国を訪問し、教育事情を中心に、それぞれの国の国民性に触れるこ

## 花の都、芸術の都「パリ」

パリに着く早々、その足でベルサイユ宮殿に向かう。ルイ十四世の贅をつくした建物は、見る者を威圧し、まさに時の権力の象徴を見る思いであった。ルイ十四世、十五世、十六世とその後の肖像画やナポレオンの戴

とができ、大変有意義な研修をすることができました。  
今回、この広報東白川に寄稿の場を与えていただけたことを大変光栄に思います。この場をおかりして、四か国で私が感じたことを拙稿にまとめてみたいと思います。

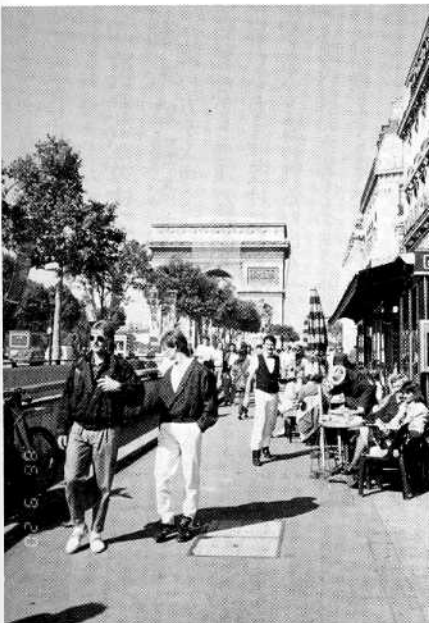
冠式などの壁画は想像以上の迫力で見ると胸に迫ってくる。  
翌日は、ルクセンブルグ宮殿、ノートルダム寺院、ルーブル美術館、コンコルド広場を見て回る。どこにもすばらしい美術品が陳列され、我々の目を楽し

ませてくれる。特に、ルーブル美術館のモナリザやミロのピエナスの前は、黒山の人のだかりであった。  
三日目は、パリの街を散策することにする。街路樹のプラタナスやマロニエが色づき始め、街並みを一層美しくしている。

パリの街の建物の特徴を日本のそれと比較してみると、①大半が石材で造られ、四百年、五百年を経過する建物である。そのため、いわゆる玄関は、昔の馬車が入ることができるよう非常に高い造りになっている。  
②建物のほとんどが五、六階建てで、高さが同じぐらいになっている。  
③窓にポーチがあり、手すりがついているが、それが建物ごと、階ごとでデザインが異なっている。  
④街の景観をそ

こねないよう、電柱や看板などが一切ない。信号機の支柱も街の背景にとけ込んでしまうような茶系の色で仕上げられ、遠くから見ると、それとわからない。蛇足になるが、洗濯物も外に干すことは禁じられているそうである。  
パリはまたファッションの街でもあるが、女性の服装からは何が流行なのかはわからない。一人一人が自分のファッションを楽しんでおり、流行に左右されない個性的なファッション感覚を持っているように思う。

次の日、テロ騒ぎで避難命令まで出たシャルルドゴール第二空港をオランダ、アムステルダムに向けて出発した。  
今回は、オランダの学校教育について書きたいと思います。



パリ、シャンゼリゼ通りと凱施門

### いいいほん



戸籍の窓 十二月 敬称略

誕生おめでとう  
ございます

(神付) 安江 宏 (眞理) 章彰 (二男)

(中通) 村雲 映司 美穂佳 (二女)

(神付) 田口 喜章 靖子 (二女)

幸代 (二女)



いつまでも  
おしあわせに

青木 忠義 (萩原町)

安江智佐子 (柏本)

堀江 孝司 (白川町)

今井 鶴代 (中通)



おくやみ  
申しあげます

安江 宇造 83歳 (平)

今井 愿 50歳 (西洞)

村雲 傅六 85 (下親田)

### 善意の寄付 敬称略

〔病院施設整備指定寄付〕  
現金十万円 前民生委員一

同 〔医療機器整備指定寄付〕



# 冬の美濃路を激走

## 第22回 加茂駅伝大会

第二十二回加茂駅伝大会が十二月七日、八百津町ファミリースタターから美濃加茂市前平運動公園まで六区間二〇・五キロのコースで行われました。

チームが参加したほか高校の部に



会場で十回出場表彰を受ける安江満久さん(中央) 美濃加茂市前平公園で

は東白川中学校卒業生の姿も見られました。

一般の部に出場したチームは五十九年に八位、六十年に七位と上昇ムードにあり、関係者からは是非入賞を……の期待の声も上がっていました。結果は惜しくも七位。入賞はなりませんでした。

前平運動公園で行われた閉会式の中で、この大会に十回出場選手の表彰があり、本村から参加した安江満久(平一病院勤務)さんが大会長から表彰されました。安江さんは、病院勤務のかたわらコツコツと体力づくりに励んでおられ、日ごろの努力の積み重ねが十回表彰につながったものです。

また、今大会に初めて出場し五区を受けた大沢の今井保都さんは、本村チームの最年長にもかかわらず、区間一位の記録にわずか二秒差。今井さんは「若い生き生きとした高校生ランナーと一緒に走ることができて満足、いい刺激になった……。」と感想を語っておられました。出場選手のみなさんは次のとおり。

- 一区―村雲健志(下親田)、
- 二区―山田久陸(黒淵)、三区―安江宏(神付)、四区―安江満久(平)、五区―今井保都(大沢)、六区―今井英樹(下野)

### 健康優良学校 岐阜県一

#### 東白川小が三年連続

昭和五十五年に東白川小学校が開校以来、全村あげての保健活動やよい歯の学校づくりなど地道な実践活動が実り、五十九、六十、六十一年度と健康優良校(県教育委員会・朝日新聞社主催)の中規模校の部で、三年連続一位の偉業を成しとげました。特徴としては、恵まれた自然環境を十分に生かした健康教育で、着々と成果をあげています。二時間目と三時間目の間に設けられた業間運動には、一年生から六年生まで縦割りのグループに分かれ、運動場、体育館、アスレチック広場へと向い、グループで決めた運動に挑戦しています。

また、保健コーナーでは、身長、体重計が自由に使え、歯の模型や、手の汚れの実験結果が展示され、歯みがきや手洗いが大切なことを教えています。

昭和五十五年に東白川小学校が開校以来、全村あげての保健活動やよい歯の学校づくりなど地道な実践活動が実り、五十九、六十、六十一年度と健康優良校(県教育委員会・朝日新聞社主催)の中規模校の部で、三年連続一位の偉業を成しとげました。特徴としては、恵まれた自然環境を十分に生かした健康教育で、着々と成果をあげています。二時間目と三時間目の間に設けられた業間運動には、一年生から六年生まで縦割りのグループに分かれ、運動場、体育館、アスレチック広場へと向い、グループで決めた運動に挑戦しています。



白川～加子母往復マラソンに挑む児童たち―東白川小学校で

現金三万円―今井保子(西洞)  
〔宮代・柏本共同墓地道舗装工事指定寄付〕  
現金四十二万五千元―代表 宮代組長

#### ■工事入札結果の公表

- ①は入札期日②は落札金額 および落札業者③は指名業者
- ◇西洞本線道路改良工事
- ①十二月二十四日②二千六百八十万円―山田土建(株)③山田土建(株)、丸登建設(株)、佃マルト土木、佃立保土木
- ◇柏本本線道路改良工事
- ①十二月二十四日②一千五百五十万円―丸登建設(株)③前記四社
- ◇寒陽気線道路改良工事
- ①十二月二十四日②一千七百一十万円―佃マルト土木③前記四社

#### 「いいはん」

一九八七年は「国際居住年」国際居住年は、第三十七回国連総会(一九八二年)で決議されました。これは、国際青年年、国際平和年に続き定められたもので、世界各国が当面する住居や居住環境問題の改善を進めるとともに、西暦二〇〇〇年までの長期的展望に立って、問題解決について一層の努力を促すことを目的としたものです。

## 同和学習コーナー ③

部落差別は  
こうして作られた

## 〈起源〉

私たちが最初に理解しなければならぬことは、同和地区は徳川幕藩体制下において政治的につくられたということです。

ところが、世間の一部にはまだ同和地区の起源についていろいろな誤った考え方があり、その一つは、異民族起源説といわれるものです。もちろん、これは誤りです。同和地区の人たちは、異人種でも異民族でもなく、私たちと全く同じ日本人族、日本国民です。

また、同和地区の人々は先祖代々「いやしい仕事」に従事していたために差別されるようになったという職業起源説がありますが、この説も誤っています。幕府が政治的につくった「いやしい身分」として仕事をしたのであって、人のいやがる仕事をしたために人びとがきらって差別が始まったわけではありません。そのほか仏教で嫌う殺生をしますという宗教起源説などがありますが、いずれも誤りです。

## 〈身分差別〉

江戸時代、徳川幕府は士農工商の身分制度をつくり、その下に「えた」「非人」の身分をつくって、これらの人々を職業・住居のうえから差別し、身分制度による分裂支配政策を行いました。これによって重い年貢に苦しめられている農民の不満をさらそうとしたのです。

もし、士農工商だけですと、農工商の人々は「おれたちは身分が低い、先の望みもない」などと嘆き、それがもとでなぜやりにな生活をし、ときには反抗するおそれもあったからです。しかし、農工商の下に、えた、非人などの身分をつくることによって、「自分たちの下には、まだ身分の低い者がいる、おれたちはまだいいほうだ」と優越感を持たせることができるし、武士に押さえつけられている不満をほらすこともできるからです。幕府や大名は、このような考えから、えた、非人の身分を作り、きびしく差別していったのです。

## 〈きびしい差別〉

幕府は、身分制度という秩序を保つために、社会の最下層の身分として、えた、非人を位置づけました。そして職業を、と殺革細工、皮なめしなど人のいやがる仕事のみに制限し、さらに「いやしい、けがれた」身分であると、生活のすべてにきびしい制限を加えたのです。

日常の服装から食事、交際、職業、結婚など衣食住のあらゆる面にわたって、人間らしく生きることの根を、うばっていったのです。

当時、部落民にたいしてされた布令は、非人間的な生活実態の状況を明白に示してあります。

「日没から日の出までは町を歩くな」

「城下町や百姓の村をとおる場合は端をとおれ。町の中で飲食してはいけない。雨の降る月のほかは笠をかぶってはいけない」

「人と口をきくときは土下座せよ」など、およそ非人道の限りの制約を加え、生活実態のうえで差別をきわだたせ、民衆の差別偏見をあいりたててきたのです。

このような身分差別が、江戸時代二六〇年の歴史の流れのな

かで、人びとの心に深く食い入り、社会生活のいろいろな習俗のなかに根づくよう浸透し、慣習化を余儀なくしたのです。

## 〈四民平等になったが〉

明治四年、政府は近代国家をつくりあげるために「四民平等」を掲げ、部落差別をなくするために「解放令」を出しました。

しかし、その一方で、明治政府は、皇族・華族・士族などという特権身分を作り、平民の下に「新平民、特殊部落」という新しい差別用語をつくりました。

四民平等といいながら、部落民に対する身分差別は、そのままで、昭和二十年の終戦まで続くのでした。

## 同和研修会に参加して

今回この研修会に参加して、改めて部落差別の根深さを感じました。

高校生のころ、藤村の「破戒」を読んで言葉に言い表わせないようないらだたしさを覚えたことがありますが、こんな進んだ世の中なのに、いつまでも不合理なことだけが受け継がれていく。人の気持ちというものは、なんと頑固ないやらしさを持っているのでしょうか。

同和地区の方々につらく苦しむ胸の内を思うと、ただ話を聞

解放令そのものは、立派な法令でしたが、差別は解消されず解放令以後の実態は部落の人たちにとってわずかな特権であった死牛馬処理、皮革を扱う仕事すら、大きな資本を持つ会社に奪われるようになりました。

差別は解消せず、義務教育や就職などからもはじき出され、江戸時代から続いた仕事の特権を奪われた部落の人たちの生活は、さらに苦しいものになったのです。

## 参考文献

「同和問題に正しい認識を」

岐阜県

「同和問題とは」

全日同岐阜県連合会

いて気の毒に思っているだけでいいのだろうか。何か具体的にすべきことはないものだろうかとか考える一方、芸能人の中にも同和地区の出身の方が多いと聞いて、多少なりともその方たちへの見る目が変わったことも事実です。

いろいろな意味で自分の心の中を見直すよい研修の場であったと思います。

(九月二十二日

村民センターにて)

(M・H)

# 新しい民生委員決まる

## お気軽に相談を

社会福祉の推進役として活躍いただく民生児童委員の選任が行われ、次の十人の皆さんが新しく決まり、昨年の十二月一日からご活躍いただいています。

民生児童委員は、厚生大臣の委嘱を受け三年間の任期で、皆さんの生活上の困りごと、悩みごとなどお持ちの方の相談役として、気軽に相談に応じてくれます。また、個人の秘密は固く

守られます。

この改選により、三十三年間の長きにわたり地域の民生安定に尽くされた村雲邦雄さん（73歳）中谷さんが退任され、後任に樋口重福さん（37歳）中谷さんが新しく選任されました。

新しく民生児童委員として活躍いただく方と担当地区は次のとおりです。

東白川村民生委員（児童委員）受持地区割表

民生委員名	電話	受持地区	地区世帯数
田口 治道	(傳) 2616 8-2229	大口・平12班・西洞	64
神戸 奨	(傳) 2673 8-2072	平12班除く平	162
安江 林	(傳) 2763 8-2184	下親田・上親田・中通下・	90
樋口 重福	(傳) 3022 8-2810	神付・中谷・加舎尾・中通上	106
安江 多津	(傳) 3206 8-2471	曲坂・日向	96
河村 繁治	(傳) 3443 8-2554	陰地	99
内木 かず	(傳) 3603 8-2576	栃山・黒淵	67
田口 徳	(傳) 3647 8-2509	大明神	75
古田智登枝	(傳) 2051 8-2756	柏本・久須見	72
今井 一雄	(傳) 3936 8-2055	宮代・大沢・下野	98

### ② 今日も元気で 目覚めぬら眠るまで

朝、目が覚めてからの初仕事は、睡眠中にためた尿の排せつです。人間は食品を食べ、それを消化してエネルギーに変えたり、身体を構成する細胞をつくり出します。この過程は、複雑で高度な化学工場にもたとえられます。

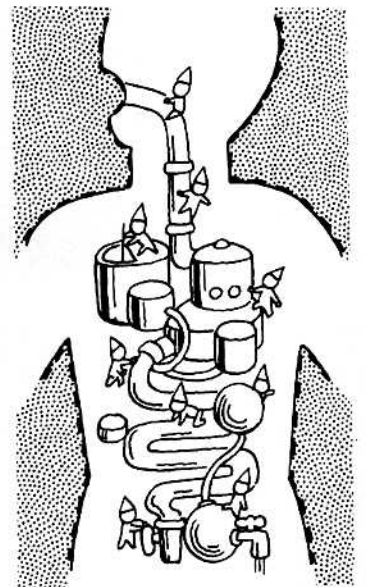
### 工場排水の中身を調べてみると

### 朝の尿検査

## 健康状態をつかむ情報源

人間の身体を化学工場にたとえてみれば、尿は工場排水です。工場排水を調べれば工場内のさまざまな状態がつかめるように、尿は身体の健康状態を点検する上で非常に貴重な情報を数多く提供してくれます。特に、朝の最初の尿は、夜寝てから目が覚めるまでの最も長い時間ため込んだ尿ですから、それだけ貴重な情報源といえます。

まず色です。尿は普通無色透明ですが、疲れていたり、発熱や発汗で濃縮されたときには色が濃くなります。また、薬を飲んでいるときにも色がつき、次に量です。水分の摂取量によっても異なりますが、健康な成人で一日に四〜五回、約一〜



んできるときにも色がつき、次に量です。水分の摂取量によっても異なりますが、健康な成人で一日に四〜五回、約一〜としての機能を保たなければなりません。これが、年をとるにしたがって血圧が上昇する原因の一つともなっています。血圧の上昇と腎機能は重大なかわりを持っており、血圧が上昇すると腎臓の負担を高め、腎臓の負担が増すと血圧が上昇するという悪循環が起ります。

### 試験紙を使って 正確な検査を

最近、極めて手軽に尿の検査ができる試験紙が市販されています。トイレにこの試験紙を置いて毎朝検査をされてみてはいかがでしょう。尿検査の結果は記録しておき、医師の検診を受ける際に持参するとよいでしょう。

### 腎機能の低下が 高血圧を招く

ところで、年をとって、排水処理場としての腎臓のフィルタ―が目づまりしてくると、人間の体は血圧を上げて排水処理場



# 歳末たすけあい募金 87万余円に

歳末たすけあい配分内訳表

使 途	在宅対象者		施設入所者		合 計	
	人員	金 額	人員	金 額	人員	金 額
1. 精薄児・肢体不自由児	44	176,000	5	15,000	49	191,000
2. 要保護児童	—	—	—	—	—	—
3. 成人施設者	—	—	—	—	—	—
4. 老人施設入所者、在宅老人	45	225,000	5	15,000	50	240,000
5. 長期療養患者	22	86,000	3	21,000	25	107,000
6. 生活困難世帯	47	234,114	—	—	47	234,114
7. 災害・辺地・その他	28	98,500	—	—	28	98,500
8. 合 計	186	819,614	13	51,000	199	870,614

共同募金会東白川分会が中心となって行った歳末たすけあい



募金を安江収入役に渡す  
中学校生徒代表小池くん

# お知らせ



運動は、皆さんの深いご理解と温かいご協力により八十七万六千四百円集まりました。  
お寄せいただいた善意の結晶は、昨年暮れに民生委員の皆さんが本村からの入所者がある福祉施設などを訪問して慰問の金品として贈られたのをはじめ、十二月中に村内の恵まれない方々に慰問の金品として届けられました。善意をお寄せいただいた皆さんにお礼申し上げます。

## 雪道、凍結道での安全走行

積雪・凍結道を走行しなければならぬ本格的なシーズンがやってきました。この冬、スリップによる転落、衝突事故を起こさないよう次の点に注意し、安全運転に心がけましょう。

■雪道、凍結道ドライブの基本  
雪道や凍結道の運転に必要なことは、まずスリップに対する心構えです。

▽スピードを十分に落とす。  
▽「急」のつく運転はしない。  
▽車間距離を通常の二・三倍とる。

といった運転を忠実に守ることが大切です。タイヤチェーンやスノータイヤを過信するのは禁物です。

■スリップを起こしやすい危険箇所をマーク  
積雪道路だけがスリップしやすいとは限りません。雪解け水で濡れた路面は、早朝や夕方、日陰では一日中凍結していることもあります。特にマークしておきたい場所は……

▽橋の上と河川沿いの道路  
▽山の北側の斜面  
▽トンネルの出入口  
……などは注意が必要です。

## ■滑り止めの措置

岐阜県道路交通法施行規則では、滑り止め装置について次のように定められています。

▽タイヤチェーン―積雪・凍結道路とも駆動輪全部に装着  
▽スパイクタイヤ―積雪・凍結道路とも全車輪に装着

▽スタッドレスタイヤ―積雪道路は全車輪に装着、凍結路は駆動輪にタイヤチェーン併用

## 一月は「家庭の日」 普及実践強調月間

一月十八日は「家庭の日」です。県では、四十二年から毎月第三日曜日を「家庭の日」と定め、健全な青少年を育てる基盤となる「心豊かな明るい家庭づくり」に努めています。

この運動を一層推進するため、新しい年の出発に当たる一月を「家庭の日」普及実践強調月間として、県民総ぐるみの運動を展開します。

▽スローガン  
「健全な青少年は心豊かな明るい家庭から」

▽目標  
○家族みんなでわが家を見直して、よりよい家庭づくりに努めましょう。

○お隣りや近所の人たちとは、いつも言葉を掛け合い、助け合いましょう。

▽今年の強調点  
○どの家庭でも、目標に向かって何か一つは実践しましょう。忙しさに追われて、ともすれば家族がばらばらになりがちです。そこで「家庭の日」には、家族みんながわが家を見直していきましょう。きっとすばらしい家庭のぬくもりが感じられ、心が安らぐのではないのでしょうか。

## 「110番」は 暮らしの非常ベル

事件だ、そんなとき頼りにするのが「110番」。一月一日は「110番の日」です。

皆さんは、110番のダイヤルを回すと、それらはすべて地元の警察につながるものと思っておられるのではないのでしょうか。私たちの加茂地域では、県警本部通信司令室（県庁七階）につながります。司令室では、皆さんからの通報内容を聞きながら、同時にこれに関係警察署や付近をパトロール中のパトカーなどに指令して、警察官を現場に急行させます。

いつ、どこで、どんな事件（事故）、犯人は、どこから電話しているか、正確に話してください。

### 今月の図書



### 嵐吹く時も

三浦 綾子著

「志津代は茶の間の畳の上で浴衣の膝を崩して、ひとりお弾きをして遊んでいる……」  
こんな書き出しで始まる物語は、明治から昭和に至る激動の時代を男女の愛憎を軸に描きながら、一人の人間の生き方がどんなに周囲の人々を幸福にしたり、不幸にしたりするものかを改めて考えさせる小説です。

### ワインロード 葡萄街道の殺人

平岩 弓枝著

ほうじょう  
豊かなワインを求めてライン川を下る人々。麻布のレストラン「つぐみ亭」の女主人有里もその一人。  
フランクフルトに着き、長旅のつかれをいやすまもなく、次々におこる恐ろしいできごと。恋が芽ばえ、愛が実り、そして殺意が育くまれる中で、真実の愛をつかんだとき……平岩弓枝ファン待望の一冊です。

## ふるさとの花

13

# フキノトウ

(露の臺)



フキの花茎をフキノトウとい  
います。

フキは、田畑のあぜ道、土手、道ばた、川岸、山地など東白川村のどこにでも生えるキク科フキ属の多年草です。日本、朝鮮、中国などに広く分布します。

雌雄異株で、早春、地下の根茎から大型の苞をつけた花茎が伸びてきます。庭の片隅や川岸の土手などに土を割り、雪を割って先端をのぞかせた薄緑色卵

形のフキノトウに出会うと、春の息吹を感じます。その先に頭状花をつけるのですが、花は地味で、雌花は白色、雄花は黄白色です。

花が終わったあとで、大型でハート形の葉を広げます。

早春に萌え出たフキノトウは、「露味噌」にすると珍味で、酒のさかなに最適です。フキノトウを丹念に搗りつぶして、白味噌か赤味噌とよく混ぜた上に、

砂糖と味噌を少々加えてつくりますが、ほろ苦い風味が過度に活きて、雪見をしながらの一杯には、山里の情景とも溶けあって、おつなものですね。

「露」の語源はよくわかりませんが、日本に漢字が入ってくる前から日本人は「ヤマフキ」

「オオバ(大葉)」を発音していたようです。また「和名抄」では、フキの和名に露の漢字をあてているようです。

東白川村では、フキノトウを「フウキント」といい、フキを「フウキ」ともい



ます。  
「露の臺」は俳句の初春の季語で、「露の芽」、「露の花」、「露のしゅうとめ」、「露の臺味噌」、「露刈り」、「露の広葉」、「露の雨」、「款冬」などもフキやフキノトウにまつわる初春の季語です。

## 今月の料理

柿巻き卵



### 【材料】

卵四個、干し柿六個、小麦粉カップ四分の三、揚げ油、木綿糸

### 【作り方】

①卵四個は、黄味が中央にくるように注意して堅ゆでにし、殻をむく。

②干し柿六個は、ヘタと種を除き縦に包丁を入れて一枚に開き、柿一〜一枚半で卵一個を包んで木綿糸で縛る。

③小麦粉カップ四分の三を同量の水で溶き②の卵をくぐらせ百七十度に熱した揚げ油で揚げ、木綿糸を取り除いておく。

④食べるときに約一センチ幅の輪切りにし、切り口を上にして盛る。

※卵と干し柿の甘みが相性のよい、おいしいオードブルです。

サンサンレディーからのメッセージを受け、歓迎する村長



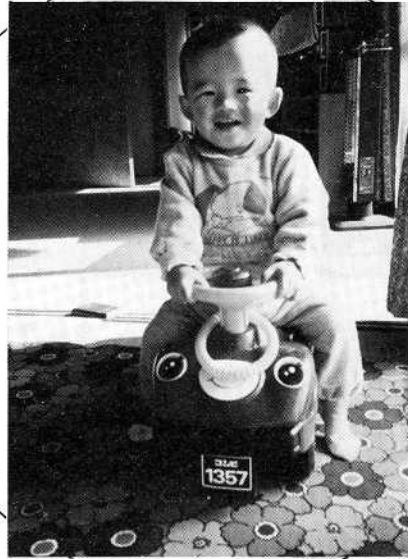
### 未来博キャンペーン さんさん 燦燦レディー来村

カメラの目

開催まであと 600日となった「ぎふ中部未来博」を一層盛り上げるため、燦燦レディーを伴った博覧会事務局長を隊長とするキャンペーン隊が11月19日「未来博の輪を広げましょう。ご支援ください」と本村にPRに訪れました。

未来博は、中部圏最大のイベントで昭和63年7月8日から73日間の会期で長良川畔、県総合運動場を会場として開催されます。現在官民一体となった準備が着々と進み、未来博成功へのムードは日増しに盛り上がりを見せています。みんなで成功させよう。

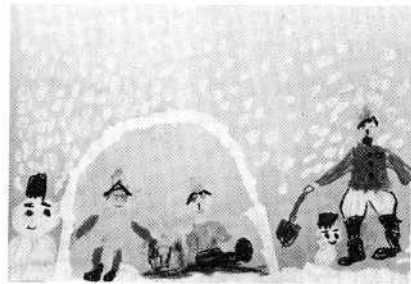
村雲智英くん(一歳)中通  
映司さん・ゆかりさん長男



すくすく育て

ゆきあそび  
いまいまさし(六歳)大沢

五加保育園



子供の作品



あなたの作品  
をお寄せください。

・初心者、とくに若い人たちの投稿を歓迎します。  
・毎月20日までに、神戸伊藤重雄宛に出してください。

- 炭焼きに来て住み付きし隣り人唄ひ残せし箱根馬子唄  
換羽して弱々しげな二年離追ひかけいじめる若き雛どり  
早瀬 勇造
- 谷底に細く湧き出る水を汲み日々の花にもすこし分けやる  
村雲 うめ
- かかるるとパワーシャベルを操るは髯を生やせし若きハンサム  
今井 かな
- 人知れぬこの淋しさに歌を詠み明日に備ふる明るき気持  
早瀬 久子
- 幾重なす山は寒さにおほわれて風鳴らしゆく過疎の村里  
安江 武子
- 行き場なき焦りの如し舞ふ枯葉かきあつめしを風の散らせる  
古田よし江
- 年の瀬を忙しく越せし思ひ出を夫と語り年せまる夜を  
安江とし子
- 三日三晩とたたかふ床の中天井にらめば母の面浮ぶ  
安江 守平
- 一人にて洗ひて漬ける漬物も後幾年か私の行事  
安江すみよ
- びくびくと又気ままに育ちし吾苦しき思ひも喜びもあり  
今井 弘恵
- 稲架の稲猪が荒して散りばふを雉が五六羽来て啄ばめり  
安江 澄
- 三保の宿湯にて語らふ上州女郡上音頭を唄ひて呉れる  
伊藤 美枝
- 三原山熔岩流るる火の川に自然の恐さをテレビにて見る  
平安江 節子
- カナリヤの籠一ばいに柔らかな冬日射し入る山茶花日和  
三戸 きり
- 暮かかくポーナス無縁の賃仕事明日の糧にと精根込むる  
今井 修子
- 七米の地底より上りし井戸掘り師汗と泥とにくぐり濡れのまま  
安江 幸
- ポーナスも手当もなくて冬に備へ糶りし大根を深々と埋める  
安江 香
- 天命の終りし兄の面差は葉々たりき銀髪めでたく  
伊藤 重雄
- コスモスの一月号は手に重く哀しかりけり師は逝きませり  
小池 弘子
- 半年を学び慕ひし師は亡きも深きみ歌は永劫に残らむ  
田口 一枝
- この部屋に村座給ひし師の姿 一語一語は今よみがへる  
田口 良三

(右の三首は宮城二先生退任の歌)